

すなやま支援員 Vol. 15 だより



令和元年 7月 発行

発行者：砂山地域集落支援員 阿部久美子

拠点施設：ぎょぎょかい めでたや

住所：塩谷 1181 電話・告知端末：62-7273



備えあれば患いなし

～地震・いざという時何ができるか～



6/18日 22時 22分、山形県沖を震源とする地震が発生し、村上市府屋で震度 6 強を観測しました。

幸い、砂山地域では大きな被害もなく、家屋の損壊やけが人もありませんでしたが深夜で、しかも津波注意報が発令され、不安な夜を過ごされたことと思います。

毎年各集落で、避難訓練を行っています。海が近い集落と河川津波に注意しなければならない集落など様々です。

いざという時スムーズに行動できるよう、家族で予め打合せをしておくことが大切だと痛感しました。

避難場所



1メートル未満の津波ならプール水位と同じくらいかな？避難しないで様子を見ても大丈夫かなと思いがちですが、30～50センチで、車が浮き出すと計算されています。押し寄せてくる水の力は想像以上です。

自分の命、大切な人の命を守るために、

早め早めの避難を心がけましょう！



他の集落の人はどこに避難したの？



砂山小学校に避難している方は、ほとんどが塩谷の方で、他の集落から避難してきた人は10家族ほどでした。震災後、各集落の方はどこに避難したかを伺ってみると…

- ・ 松沢方面に避難した
- ・ 道の駅の駐車場で一夜を過ごした
- ・ 近所の高台の親戚の家に身を寄せた
- ・ 自宅でテレビなど情報を集めながら、待機していた
- ・ とりあえず海とは反対側の海拔の高いところに逃げた



参考:必要最低限の品物リスト一覧

1	非常袋	非常袋用として販売されている袋は、容量の少ないものも多いので、両手をふさぐことのない少し大きめのリュック型が最適	10	ハサミ カッターナイフ	10徳ナイフの方がコンパクトで便利に感じるが、ハサミやカッターナイフの方が使いやすい。
2	飲料水	飲料水だけなら1日1リットル程度あればなんとかなる。数本は500ml用のミニボトルを入れておくとよい。	11	ライター	100円ライターでもよいが、チャッカマンのようなものの方が使いやすい。
3	非常食	カンパンや長期保存ビスケット、チョコレートなど。	12	タオル	怪我の手当てや汚れ拭き、下着の代用等、汎用性が高いので数枚用意。
4	懐中電灯	使用頻度も高いため、予備電池もセットで用意しておくこと。	13	ポリ袋	小物入れや、水入れ等、汎用性が高いため、数サイズの袋を用意しておく。
5	ラジオ	イヤホン専用ではなく、できればスピーカー対応のものがよい。予備電池も必ず用意！	14	トイレトペーパー	水道が使えないときのことも考え、ウェットティッシュなども併せて用意しておくとう便利。
6	貴重品	お札だけでなく、必ず小銭（10円玉）も用意(公衆電話用)しておく。保険証、身分証明書、運転のコピーも合わせて入れておくと何かと役立つ。	15	ガムテープ	最近は、重ね貼りができるタイプの紙テープも販売されているが、できれば丈夫な布テープがベスト！
7	救急袋	マスク、消毒液、ばんそうこう、湿布薬、三角巾、風邪薬、胃薬、包帯、毛抜き、綿棒	16	軍手	綿100%と皮手袋(ガラス片処理用)の2タイプ用意しておくとう便利。
8	着替え	人によって異なるが、下着類やTシャツなどを数枚用意する。空気が抜ける圧縮袋などにまとめて入れておくとコンパクトに収納できる。	17	雨合羽	ポリ袋で対処することもできるが、雨合羽を用意しておいた方が使いやすい。
9	筆記用具	油性マジック、メモ帳、ボールペン	18	レジャーシート	避難先の場所確保(1人あたり1畳程度)などに便利。

いざとなつてから考えるのではなく、常に備えて、どんな場合でも安心して行動できるように、準備しておくことが大切です！

すなやま支援員だよりについてご意見、ご希望がございましたら、お気軽にお問合せください。

Eメールアドレス:sunayama-shien@sea.plala.or.jp